

暫定議題  
第 28 回科学委員会会合に付属する拡大科学委員会  
2023 年 8 月 28 日-9 月 2 日  
韓国、濟州島

青でハイライトした議題／副議題項目にかかる議論は、会合の開会前に文書通信により開始される予定である。

1. 開会

1.1. 参加者の紹介

1.2. 会議運営上の説明

2. ラポルツァーの任命

3. 議題及び文書リストの採択

4. SBT 漁業のレビュー

4.1. 国別報告書の発表

メンバーは、会合前に [ESC に対する国別報告書テンプレート](#) により国別報告書を提出することとされている。

ESC 27 で合意されたとおり、ESC に対するメンバーの国別報告書 (ESC 年次報告書テンプレートのセクション 7 及び別添 1 の関連部分) の中で EMS に関する活動について報告すべきである。

4.2. 事務局による漁獲量のレビュー

5. 第 13 回オペレーティング・モデル及び管理方式 (OMMP) に関する技術  
会合からの報告

6. 戦略計画改定案における科学関連項目の検討

2023 年 7 月に開催される戦略・漁業管理作業部会 (SFMWG) は、改定 CCSBT 戦略計画を策定するため、2021 年 CCSBT パフォーマンス・レビューによる勧告の実施計画案について検討する予定である。SFMWG は、ESC に対し、戦略計画改定案のうち科学関連部分について検討するよう指示する可能性がある。

7. 科学調査計画及びその他の休会期間中の科学活動の結果のレビュー

7.1. 科学活動の結果

継続的な科学活動に関する定期的なアップデートについては事前協議で取り扱うことが想定されているが、より実質的なアップデート又は新たな作業について発表するメンバーには、本議題項目において当該事項を発表するよう要請されている。

7.2. CPUE 指数の頑健性の改善

コンサルタントが、漁獲努力量の集中による潜在的な効果や複数船団から得られたデータを統合するメリットに関する知見を発表する。

7.3. 非協力的非加盟メンバーによる UAM の推定値のアップデート  
コンサルタントが、2019 年の GLM 解析の単純更新（ただし当時実施したランダム・フォレスト解析は除く）の結果（解析時に行った改善を含む）を提供する。

7.4. OMMP コードのメンテナンス及び開発  
コンサルタントが、OM 開発に関する 2023 年の作業計画事項の進捗状況のうち、先の OMMP 議題項目の中では検討されなかった項目について報告する。

## 8. 資源状況に関する漁業指標及び科学的指標

### 9. SBT 資源評価

ESC には 3 年ごとに全面的な SBT 資源評価を実施する任務が課されている。直近の全面的資源評価は 2020 年に実施されたので、次の全面的資源評価は 2023 年の ESC 会合において実施されることとなる。

### 10. 管理方式の運用及び SBT 管理助言

10.1. メタルール及び例外的状況の評価

10.2. 管理方式により勧告された 2024–2026 年の TAC の確認

10.3. SBT 管理助言のサマリー

### 11. 科学調査計画（SRP）のアップデート

本議題項目は、メンバーが新規提案及び／又は既存の SRP プロジェクトへの変更（成果物提出のタイミングを含む）について検討できるようにするための常設議題項目である。

### 12. 電子モニタリングシステム（EMS）

メンバーは、将来の ESC 会合において EMS 関連の問題に対処するための議題項目を設けることに合意した。メンバーは、5 月に開催されたバーチャル EMS ワークショップで提起された結果及び決定の関連事項について検討するよう要請されている。

## 13. 2024 年におけるデータ交換要件

## 14. 調査死亡枠

### 15. 2024 年及びそれ以降の作業計画、スケジュール及び調査予算

15.1. 2024 年の調査活動案の概要、スケジュール及び見込まれる予算と、作業計画及び予算に対する科学調査計画の影響

15.2. 次回会合（ESC、OMMP 及び関連する補助機関を含む）の開催時期、期間及び構成

## 16. その他の事項

### 17. 会合報告書の採択

### 18. 閉会